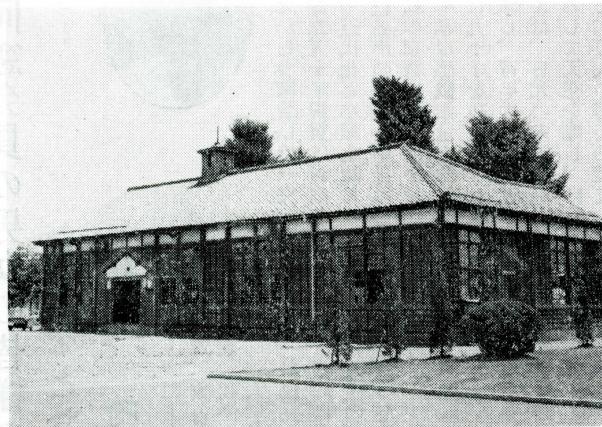
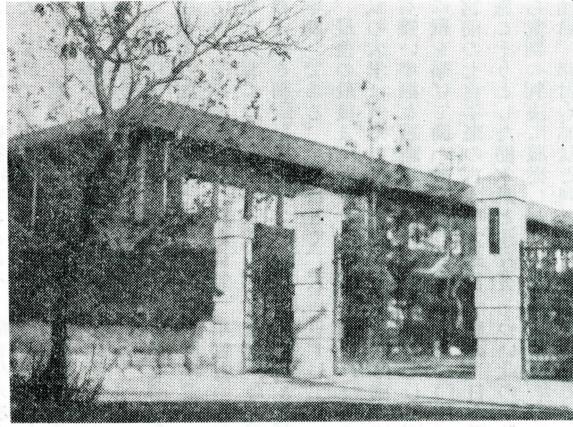


歳月は過ぎゆくも思い出は昨日の如く吾が胸に在り



取こわし直前の旧生徒控室・昇降口 三角形  
白壁とその下の開口部が旧二間廊下との接続  
箇所（同窓会ニュース欄⑧参照）

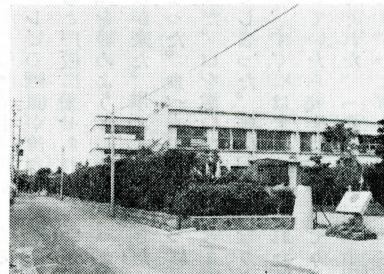


40年前の本巣高女 正門より本館を望む。校  
門の鉄柵が遙かなる日への郷愁を誘う。  
(写真は本田高枝氏提供)

### 現在の姿



新生徒昇降口 階上は格技場  
体育館の北に昨秋竣工。東の松土堤を一部取払い通用口にしてある。



日本巣高女の跡 今は北方中学校  
石垣だけがわずかに往年の面影を留めて  
いる。

本巣高校の新・旧本館の写真は「50  
周年記念事業報告書」にカラーで掲  
載してあります。

### ご挨拶

同窓会長 竹中重之

いつしか秋も深まって参りました。皆様には益々ご清栄のこととお慶び  
申しあげます。

昨年度定期総会において会長の重責を荷うことになりました。微力ながら  
皆様のご期待に副うよう一意努力する所存でございますので、何卒よろし  
くお願い申しあげます。

さて、昨秋初めて「同窓会だより」が発行されましたところ、幸い皆様  
方からご好評をいただき、本年度の理事会及び総会において今後も引き続き  
毎年発行することが決議されまして、茲に第二号をお届けいたします。今  
回は事務局の発案により恩師の玉稿が特集されました。会員諸兄姉には、  
在りし日を偲びつゝ「膝を交えて旧師の語るを聞く」思いでお読みいただ  
けるものと思います。

終りに恩師並びに会員各位のご多幸とご発展をお祈り申しあげてご挨拶  
といたします。

### 岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局

岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺  
郵便番号 501-04 電話 (0583) 24-1201

# 母校同窓会員の男女の皆様の健康と長寿をお祈りします



篠 崎 敏 治

昭元・一二一六・三 本中校長としてご在勤  
ご住所 東京都中野区江原町三丁七十五  
現在 和洋女子大教授・米国ウイラメット  
大学名誉教授

# 病床にあつて思う

瀬

味 成

圓

大正一四・五・昭二〇・四 本中ご在勤  
ご住所 羽島市桑原町大須



成

僕は今年七十八になった。子は四人で長男

第一にとのこと。

それから二晩は事無くすんだが三日目の夜

は家をつぎ弟二人は名古屋と大垣で世帯を持

つて孫が二人づつ計六人ある。四人目は去年

だつた便所へ行こうと二、三歩ふみ出した時

す。先年母校創立五十年祝賀にお招きを受け

て、校舎校庭の近代化と卒業生諸君の大車輪

どうしたはづみかフラフラとして壁側に置

活躍による母校名声の高揚と目の当たり拝見

いた。これは私の在職の頃には夢想だに及ば

ぬこと、本当に私は感概無量で胸の高鳴るの

でした。私は九十才を迎える。お陰で元気

だと思つたら、それを今日は訂正しなければ

ならない。今日出来なければ、明日再び遣り

直す必要に迫られる。私は思う『仕事は無限

だ。エネルギーも亦無尽蔵だ。』人生とは何

しめる。それが道跡拡張の犠牲になるところ

痛を与えるものはないと思ふ。母校創立

以来、綿々として続いた歴史の五十年の星霜

を幸い免がれたと新聞で最近の朗報を読ん

だ。七百年はおろか、琉球には驚く勿れ樹齡

三千年に達する老杉が亭々としてそびえ、全

世界の全貌を有史以前から黙々として物語つ

て居る。これこそ真に活ける歴史である。

天の賜わる生命力の如何に偉大であり、如

何に長久であるか。奇蹟的と申すほんは無

い。所が人の住む浮世には、人間が人間の大

切な生命に、わざわざ制限を加える。所謂、

世に云う『定年制』である。生命は凡て、天

寿であるから、最後の最後まで尊重するのが

天道である。私の大学は例外で、定年制がない。誠に以て有難い幸福と感謝して、驥尾に

付し、心の駒に鞭を擧げて働かせて貢つて居

る。日光東照宮前約七百年來の古木の太郎杉

に、定年制を施こうとした栃木県と建設省

とは、どうやら裁判の判決に服従した。

さて卒業生諸君、諸君も亦私と同じように

自分の生命に定年制を設けない方がよいと思

い。一日おきに注射に来ます」と言つて帰つた。中気に入る一歩手前とも言われた、安靜

されまし。お暇がありましたら御覧下さい。されば幸甚で御座います。

新規、日本経済新聞に写眞入りで出ました。私の壯年時代の仕事の紹介が十頁に亘つて掲載されました。

た。一時半頃医者が来ててくれた。「血圧が高

くても謙虚に受け入れて自然の運行に随順し

たいものだ（これが南光阿弥陀仏の世界）。

## 「万葉植物の話」と「雑説」



鹿島 源助

大正一一・四一昭二一・三 本中ご在勤  
ご住所 千葉県富津市大堀八番地

万葉集中の歌四千五百首程の中に、植物の名が百七十内外あって、それを植付けた万葉園は全国各所にあるが、有名なのは奈良万葉園（昭和七年完成・公設）と東京都内国分寺園（昭和三十一年完成・私設）である。その内容充実度から見ると、私の施設寄付による浦和市大谷場（三十六年完成）のと木更津東校（四十三年完成）のが主位。生物であるため保護作業不足の場合は枯死品が増すばかり、依って最初にあげた二園の如きは、私が昭和四十五年第五回の視察の時は両園とも生存品は各百二、三十種位いと認められた。私は極力保護に努めるが、自然的環境などをため折々枯死の憂目に逢うこともある。依つて貴重又は枯れやすい品は努めて趣味者に種苗を分譲して、存続上の協力を願いしている。特に稀少な五種について次に少し説明する。

〔あふひ〕冬葵は絶滅に近いので、牧野博士は「入手不可能の場合は立葵を以て代用するも可ならん」といわれたとか？私は東京杉並区の若浜博士が偶然房州白浜海岸で発見栽培中と聞き訪れて入手、お礼の印までに翁草・蓼・菱を譲呈した。

〔いちひ〕いちいがし 関東方面では中々見当らず、昔から奈良にある由を聞き奈良園監視人佐藤女史にお願いし種子を入手した。

〔うり〕一般に真桑瓜を採用。以前は純粋種が全国的に分布栽培され、私も十才頃から愛培賞味し、やがて岐阜県本巣校に勤続二十四

年間原産地真桑村近くに住み賞味したが、終戦後外来種との自然交配により純粋種は絶滅となつた。此頃注意栽培により先祖返しを始め四十六年には可なりの良果を得た。十四年には入手上最も困難した。四十三年十月二十八日入手し十月三十日（教育勅語かん発記念日）に定植し園の完成記念日となる。今接木の砧木とする。  
〔むらさき〕昔は根の汁を紫染の原料とし、武藏國が本場であったが、今は絶滅状態。私は野生発見不能、友人から入手。後十余年間に八ヶ岳の麓と九州遠賀川上流の山中で夫々一株を発見した人があった。

### 「雑説」

○本巣校二十四年在職し趣味の教科に全力注ぐ。○担任は地理工作の二教科で一週間に中三十三時間。○両科共思ふ存分斗奮し実績挙げ得て満足したり。

○東濃の樋田善一氏を去りぬ年は我より十も若きに。○樋田氏は我と同日就職（本巣中学）し住いも壁を一重狭みて。（四七・六・三〇）○園芸は万葉植物研究に主力を注ぎ社会の為に。○孫娘在学中の学校に六年かけて万葉園寄附。○東校万葉園の新区域七十種類配植考案。○研究の接木挿木の産物は望者に分ち共に楽しむ。

○食物は充分噛めば消化よく食糧經濟体すこ

やか。

○我こそは百三十五才目標に今九十才三分の二となる。（四七・一〇・一〇）

## 初代の校長を憶う



林坂名雄

大正一二・四一昭二四・三 本中及び  
本女ご在勤（本巣高女最後の校長）  
ご住所 本巣郡北方町地下

私が旧制本巣中学校に就任したのは大正十二年四月で、第一回卒業生諸君が四年に進級された時である。初代校長は、千葉県木更津中学校の教頭から迎えられた利根川与作先生であった。質実剛健、清潔整頓を信条に、県下第一の学校にしたいという念願に燃えて学校経営に当られた。土地柄生徒も素朴だったから、よく先生方の意図に従つて眞面目に掃除もやつてくれたので、校内は隅から隅まで実にきれいであった。掃除のゆきとどいていた学校は本中だという定評をかち得たほどである。生徒控室から寄宿舎に通ずるわゆる二間廊下の途中から、生物教室に行く廊下が分れていたが、この廊下などは学校中で一番よく拭きこまれて、床板がびかびか光っていたという印象がいまだに残っている。

先生は神経質な方だったから、世評には随分心を使われた。学校関係の事柄で褒められたような場合には、早速朝礼の際喜色満面これまで生徒に披露せられたものである。とにかく先生くらい全精神を学校のこととに傾注せられた方は、歴代校長にその比を見ないと断言できる。梅の町の校長官舎の裏に教頭官舎があつた。当時の教頭梶原直起先生は、私に一杯だ。学校のことでの思い出と、夜でも僕を呼び出して指示を与える、全くやりきれない、せめて在宅時くらいは学校から解放されなかったよかろうに」と度々こぼされたものだ。

先生は教員採用に当つては、出身学校等に利根川先生こそは、粉骨碎身、堅実を誇る本校伝統の基盤を築かれた、偉大なる恩人であることを深く心に銘すべきだと思う。

つき徹底的に調査して慎重を期せられた。その代り一旦採用したらあくまで親切に世話をし、機会あるごとに前面に押立て、本人の前途に光のさすよう配慮せられた。そうした温かい心持を今でも思い出すことができる。先生には仁といふ名の御子息があつて、四年に在学しておられた。家庭では少し我儘だったようだが、頭脳頗る明せき批評眼も持つた。従つて教職員はその言動が彼を通じて家庭の話題に上ることを嫌い、生徒は彼が特別扱いされるのではないかと疑つてかかる。というようなことで、何となく異様な雰囲気が醸しだされていた。聰明な人でも親となると子故の闇に迷うことにもなりかねないので平教員はともかく、校長の職にある人は、自分の子を絶対にその学校に入学させるべきではないと思った。仁君は高校受験の資格を得たのを機会に、四年で本校を去られた。

かくして先生は大正十四年第一回の卒業生を送り出され、翌年十月福島県師範学校長に栄転されたが、本当にいよいよ潮時だった。在職数年に及べば誰だつて出すべき新機軸は尽きてくる。激しい時の流れに、堅持した方針を変えねばならぬことにもなつてくる。とかく飽きやすい人の心を思う時、数年は校長在職の極限だと思うからである。

# 私の健康と本巣高女



小

島

陞

一

大正一五・一〇・昭一七・五 本巣高女  
昭和二三・八・昭二九・三 高校ご在勤

ご住所 岐阜市七郷小西郷

大正一三・七・昭和二四・三 本巣中学  
昭和三三・三・昭和三四・三 高校ご在勤

ご住所 本巣郡本巣町文殊

橋

三

三

三

私は当年七十五才になり今日まで無事に、生活をつづけて本当にありがたいことと思います。この原因は色々ありますが、一つは私がスポーツに親しんだことと、も一つは謡曲に趣味を持つたことでないかと思います。この二つは本巣高女在職十六年間に得た体験によるものと考えて居ります。

大正十五年本巣高女に転勤するや、クラブ活動の担任に運動部をやることになり、バレーボールを作つて練習を始めたのがそもそもスポーツに親しむ動機となつた。名古屋から加知茂君が本校に転任されるや、同君をコーチとして益々熱が入り君の創案になるハヤタッチ戦法を用い徹底的に練習して遂に実戦に使えた。その最たるもののが飯尾さん（吉田医院の奥様）と宇野さんの名コンビで如何なる場合でも必ずチャンスにする飯尾姉それを相手チームの弱点にぶち込む宇野姉と実にその名技に打たれたものです。ストップすれば手とネットの間に打ち込み、中央によれば前衛右とサイドラインの中間狭い空間にたたきつけるといった具合で、手も足も出ない神技に一同感嘆したものでした。勿論県下には本校チームに勝るのはなく、名古屋の大会に出場して淑徳高女を破つて優勝旗を持ち帰ったこともあり、国体にも出場するといつた輝やかしい歴史を作りました。こうしたことから諸先生はじめ生徒一同、校務員さんまでも一つになつて事に当る気運がかもし出され、何事によらず学校の行事に心から協力

する雰囲気が生れて日々が愉快に勤務することが出来ました。私は退職後岐阜賀谷女子高校に勤めるようになりましたが、職員チームに加わつて校内大会で生徒の優勝チームと対戦しても決して負けません。お蔭様で昨年退職するまでバレー部に關係を持って楽んで居りました。

次に謡曲は、本巣高女書記の山田甚吉氏に手解きを受けてから飯尾保太郎老師に就いて本格的に謡を習い初めたのです。老先生逝去後は戦争で一時中断ましたが、終戦後は、御子息飯尾義之師に稽古し、尚深く東京の武田太加志師に師事して毎月名古屋まで出向いて勉強をつづけて居ります。（私の次男小島組みもあり職種も多種多様で年齢も五十二、三と孫のある人も相当あり多年の風雪に耐へて己に頭上半白の霜を宿すという人生も仕上げの段階に入つた人ばかりです。中に辺りを圧する如く立派な体格をした紳士が居り始め判らなかつたがやがてこれは何と中学生時代手に負えぬあばれん坊で毎日教員室へ呼ばれぬ日はない位の豪傑小森則夫だ。同君柔道十カ年にわたり能楽の修業を積み只今は独立して、能楽を舞つたりお弟子の指導をして技倅は東海随一とも云うべく、その試合振りは実に豪快無比、如何なる強豪にも敵に立つなくなきたおず無敵振りは常に勝因を作つて味方を安泰に導いたものだった。卒業も腹から出る力のこもつた声でないと良い表現は出来ません。どんなに小さく聞える声でもしばられ一汗かくことが多いです。謡曲は不斷の修練が必要です。謡の文章は美しく難解で東西の古典から引用された文句が多くそれに表現内容が又幽玄なもので、内容の研究も奥深いものがあります。そうしたことから頭を使うことが多く「恍惚」をふせぐにも又為になるもので楽しんで続けています。



一

二

高

橋

三

三

三

今年五月十三日政田の昇平樓にて第十四回（昭和十三年卒）の同級会に招かれて行きました。卒業生八十一人、死亡者四十人、生存者四十一人中出席者二十三名で死亡者の多いもの驚きですが、三十五年もたつて半数以上と出席の良さにも目を見張りました。東京、大阪からの出席者もあり中には夫婦同伴の一組みもあり職種も多種多様で年齢も五十二、三と孫のある人も相当あり多年の風雪に耐へて己に頭上半白の霜を宿すという人生も仕上げの段階に入つた人ばかりです。中に辺りを圧する如く立派な体格をした紳士が居り始め判らなかつたがやがてこれは何と中学生時代手に負えぬあばれん坊で毎日教員室へ呼ばれぬ日はない位の豪傑小森則夫だ。同君柔道十カ年にわたり能楽の修業を積み只今は独立して、能楽を舞つたりお弟子の指導をして技倅は東海随一とも云うべく、その試合振りは実に豪快無比、如何なる強豪にも敵に立つなくなきたおず無敵振りは常に勝因を作つて味方を安泰に導いたものだった。卒業も腹から出る力のこもつた声でないと良い表現は出来ません。どんなに小さく聞える声でもしばられ一汗かくが多いです。謡曲は不斷の修練が必要です。謡の文章は美しく難解で東西の古典から引用された文句が多くそれに表現内容が又幽玄なもので、内容の研究も奥深いものがあります。そうしたことから頭を使うことが多く「恍惚」をふせぐにも又為になるもので楽しんで続けています。

序に私の近況もお知らせしたいと思いますが、私も七十七に達していよいよ老境に入りましたが、元気です。体育生活は本命で毎朝早く起きて体操を十三分やりマラソン二軒走ります。雨の日は軒下で駆足踏二千回、時に繩とびも。柔道もすこしつづけて居り毎日ではないが本巣中、北方中に初心者指導を行きます。だが年のせいで体重も四十五キロと減りましたから無理をせぬよう自重しております。

九月三十日東京厚生年金会館主催による第四回タートリンピック大会（六十才以上の男女老人スポーツ大会）の三千五百米のロードレースに出場のため意気込んでいます。（八

（昭和二十年卒）の同級会に私と浅野信夫先月三十日記）

思い出すままに

井上ふみ



思い起せはすいふん昔のことですが、本巣高女を卒業して四年間東京で学び、母校へ再び戻って就職しましたのが満二十才を迎えたのはかりのうら恥しい頃でした。時の流れで学校もいろいろ変り、高校へ昇格、統合して統合三一高女の教師生活を送りました。

らもらい、そのため国民婦人服の宣伝と指導にあちこちと歩き回りました。さらに県の女子青年団の團服を岐女師、岐高女の先生方と作りましたが、紺一色の質素な服でしたので、故山田甚吉先生が「うら若い娘達に何とい

大正一三・三 本巣高女第一回卒業生  
昭和三・四十三九・三 本女及び高校ご在勤

のと定年まで数年をのこして思いがけぬ病に倒れ、生死の間をさまよいましたが、今は、留守番、孫の子守と幸せな余生を送るまでになりました。これも医師の懸命の手当、家族の者の看病と、御心配や御迷惑をかけました。冒様方のおかげと毎日感謝の生活を送っています。この紙面をかりて御礼申し上げます。

生宅で作られました。さすが天野先生は数学の先生で、メートルをすぐに直されたのですが鯨尺と曲尺の違いで、出来上った物はダブダブ、大笑いしたことが思い出されます。当時は廃物利用もよくしました。

「主人のズボンがこのジャンバースカートに変った。」とか「子供の上衣を作った」とかを昔の生徒さんから聞き、何でも使い捨て

加し筆者の農村小学校も二十五名の男子のうち五名が進学することとなつた。その増設中学校の一つに母校本巣がある。新しい中学校が糸貫河畔に出来たということが話題となりその頃進学の年頃だった筆者など英語という新教科に誇りと魅力を感じたものだつた。中学校では英語が週に数時間もあるとか、外人が会話を教えに来るとか、授業の合図がラップなどといふ、云々でつてなう教頭があるといふ

革等幾百年にも相当する大変革の行なわれた二十有二年を母校教師として全力を捧げた。天職英語教師に教育した母校に滅私奉公するのは当然の責務であり、その好機を与えられた奇縁に感謝も感激もした。人生意気に感じなければ嘘である。俱学俱進若い生徒と共にある事を無上の樂と心得我が天職と感激して教師生活に余念がなかつた。母校の生徒とは

---

Digitized by srujanika@gmail.com

教師になつて最初に教えたのが運動用ブルースと椅子カバーでした。何しろ生徒は入学校しての一年生で、裁ち方を教えてもピンとも顔も名前もよく覚えており、町で卒業生に会い「〇〇さん」と旧姓で呼びかけると相手の方がびっくりするくらいで、三十年、四十年前のことを覚えていてくれたのかと喜び

の現在にこういうことを聞きますと何か教師としての小さな喜びを感じます。先日もテレビで若い奥さん方の廃物利用の話をきいてたのもしく感じました。

教師生活三十数年間は、いつも受付接待の係でしたが、この間の創立五十周年式典には恩師として参列させてもらいました。いろいろの思い出が去来し、実に感無量でした。私は教師生活すべてを本巣高女・本巣高校で送り五十周年記念の展示品を見ていると、自分

中学は変化と楽しみに満ちた若人の樂園だった。ここでの恵まれた先生方の感化力は大きくて、英語が好きになり将来の方向がきまつた。大正期末初の卒業生を出した母校は筆者の出た昭和四年にはやつと五回、進学先輩も少なく何校へはどの位の力が必要の前例も資料も貧弱なまま筆者は母校で植えつけられた英語への趣味と理数科の不得意という限られた条件で進学するとなると目標校は極めて少數になる。英・国漢・西洋史の三科目だけが入試科目

単なる師弟関係の外に先輩後輩の繩の連がりという二重のきづなで結ばれたためか、本当に自分の心のままに従順な協力を惜しまなかつた生徒に有難く感謝している。教師生活の楽しさを満喫したあと三つの高校長を経験し母校を客観的に眺める機会を持ったが、師弟のつながり、同窓会の模様、質実剛健の旗印の下、世に送られた質量共に優れた卒業生、日進月歩の発展、学区制再実施など諸問題を種々の角度から客観的に見て母校が他校に勝る数々に鼻が高い。

公立高校教員を三十九年勤め今春退職した。筆者は本中五回卒で今、来し方をふり返り感慨一入深いものがある。そのうち「母校本巣」に關係ある部分のみを引き出して懐旧談としたい。

はこれ以外にはないと確信していただけに、そこへの合格は嬉しさも又格別だった。たのしい英語の勉強にあけくれ、昭和七年外語を卒業、未曾有の不景氣の中で英文タイプ、コレスポンデンス等実用英語の知識技術も身につけ、とくにそれが時々必要とする商業学校教師としての資格をもつて、その職業に就くことを決意した。

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. The photo is set within a circular frame.

# 高橋巖

大きいようです。

の人生を見て、思ひで胸にせまるものがありました。現在の楽しみは同窓会などに出て昔の話をすることです。

目で入学後も理数科は全然なしという自分に正に持つて來いの学校、それがやっと見つかった大阪外語だったのである。自分の進学校

昔を語る土手の松以外思い出のよすがを失つた母校の前進に喜びと郷愁、錯綜複雑である。

# 同窓会ニュース

昭和48年10月10日

## 同窓会ニュース

### ① 中西先生と福田克美氏の栄誉

中西了教先生（元本東高女校長・現在三重県河芸町役場助役）は今春天皇誕生日の吉日に叙勲（勲五等旭日章）の栄を得られました。

また、日本碍子社長福田克美氏（中8）は昨年十月藍綬褒章を受章されました。

お二人へ謹んでご祝詞を申し上げます。

### ② 新名古屋支部長決定

前名古屋支部長竹中忠夫氏のご死亡（昨秋）の「同窓会だより」に折込み既報により、その後任として、愛知医科大学教授兼同附属病院長・医博・上田文男氏（中2）が旧職就任されました。同氏のご住所は次の通りです。

名古屋市東区徳川町一の三四（電話名古屋〔〇五二〕九三五一九一二二）

### ③ 新校内理事の紹介

本年三月末の人事異動で次の同窓会員四氏が母校に来任せられ、卒業生職員は河合教頭以下総勢十六名となりました。同窓会としては事務局の陣容が増強されたわけで心強い次第であります。

飯尾誠太郎（中20）国語担当、岐阜高校

より

川瀬憲一（高普三）数学担当、華南高校

より

大野昭義（高普一二）国語担当、羽島高校

校より

小川千代子（高普二五）事務担当、新任（今春卒）

### ④ 加算機日本一の鷲見町子さん

十六銀行事務セントラル勤務の鷲見町子さん（高普二二）は本年五月二十日、東京晴海

### ⑤ 昭和四十八年度本部総会の記

定例七月理事会の決定により本年度総会は八月十八日（土）午後二時三十分から北方町の金寿館で開催。型の如く決算・予算その他議事・報告を終って懇親会に移りました。出席者は恩師の高橋三三、小島陞一、川口義雄、杉山義雄、服部竹風等の諸先生を迎えて約五十名。盛会裡に午後六時半散会しました。

⑥ 顧問及び常任理事の推薦

本年度総会において、岐阜県議會議員小林稀輔氏（中2）は顧問に、菅原智子氏（旧姓「井上」高普一三・井上ふみ先生ご息女）は常任理事に、夫々推薦されました。

### ⑦ 五十周年記念奨学金の支給

創立五十周年記念事業の一つとして同窓会寄附金で創設された奨学金（月額三千円）の本年度受給者は、一年生一名、三年生三名、計四名であります。

### ⑧ 旧生徒控室昇降口のとりこわし

最近十年余り、近代的鉄筋へと校舎の全面改築が順次進められてきた中で最後まで残っていた本中創立当時の木造建物 時報塔を戴いて運動場の北にそびえ一万二千の卒業生

で開催の日本経営者協会主催第三回全日本計算機技能競技大会において、きびしい地方予選を突破してきたいづれ劣らぬ腕力の参加者百名と技を競つて、見事優勝され「加算機日本一」の座を獲得されました。ついで五月二十八日朝、NHKのスタジオ一〇二へそろばん日本一と一緒に出演され、全国に放映されました。

鷲見さんへ心から祝福を送ると共に、今後若い卒業生諸君の各方面におけるご活躍を期待してやみません。

老殘の英雄を葬らうような感懷をもって編集子はその取りこわしを見守った次第でした。

茂一氏もさぞかし喜んでおられることがありました。

### ⑨ 母校運動部の活躍

全国大会にも度々出場し、勇名を馳せている母校女子バレー部は本年も、七月二十九日中部日本バレーボール大会高校の部で優勝。

ついで八月十九日国体県予選高校の部でも優勝し国体出場権をかちとりました。

また、最近の躍進めざましい女子ソフト部は八月二十五、六の両日、松阪市で開催された国体東海地区予選で快勝し、三重県龜山高校と共に、東海地区代表権を獲得致しました。

両チームとも十月中旬の千葉国体への晴れの出場を控え、必勝の意気に燃えて日々練習に励んでおります。母校の名誉をかけたわが校と共に、東海地区代表権を獲得致しました。

兩チームの健斗を切に祈念いたします。

### ⑩ 梅田林平氏の近況

古き良きその昔、本中の腕白たちがさびしい先生の監視の眼を盗んでは土堤を飛び越えて行き、大変ご厄介になつた母校西北角の東子屋リンベイさんは、本年満八十一才。数年前細君は亡くなられたが、元の場所に家を新築し、孫夫婦に看とられて悠々閑居、平安な老の日々を送つておられます。時折校庭の木蔭に杖を曳く氏の姿が見受けられます。

### ⑪ 梅田書店のこと

梅田書店は本中創設の頃開業し、昭和九年までは林平さんの店と軒を並べてすぐ北隣りにあった。ご主人梅田茂一氏は本中オールド

前号以降次の先生方がご逝去になりました。学恩を深謝し、謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

関谷健太郎先生 竹中昭彦先生 米谷暎一先生 横沢直行先生

### 編集後記

① 大抵どこの学校でも創立何十周年という場合には、恩師・卒業生の回想文や回顧座談会の記録等が編まれるのが通例のようですが、本校の五十周年には、それが無かつたので、多少なりとも之を補う意味で、本号は恩師の寄せを特集させていただきました。

紙面の都合で、歴代校長の代表として現存最古参の本中第二代校長篠崎敏治先生と母校ご在職二十年以上の七名の恩師へご無理をお願いいたしました。玉稿を賜わりました諸先生に対し茲に厚く御礼申しあげます。

② 去る理事会で「控室の最後の姿を撮つて載せるように」「女学校の写真もぜひ」との

お声がありましたので、ご覧のとおり昔と今のお声がありましたので、ご覧のとおり昔と今

の写真を掲載いたしました。

なお、この「同窓会だより」を一層良いものにするため、皆様からご意見ご要望や恩師

・会員のニュース等をお寄せ下さいますようお願い致します。

（中8 国枝 愛司）

ボーライズには懐かしい人ですが、一昨年十月遂に去る七月下旬、永遠に歴史の彼方へ消えました。老夫人はなお健在です。今の経営者は故人の長男茂氏（中三）・同窓会の監査委員）で、先年北方町俵町の昔の高田至誠堂の位置に鉄筋三階建の堂々たる店舗を新築され、父業の書籍文房具のご商売が繁榮。地下の先代茂一氏もさぞかし喜んでおられることがあります。